

**みやぎ情報化推進ポリシー  
令和5年度 進捗報告資料**

## R5ポリシー 関連事業【実績】

事業数 **177件**  
決算額 **62.4億円**

【参考】R4実績  
事業数 159件  
予算額 65.8億円

## 基本目標

情報化で実現する富県躍進！

デジタル

プログレス

**D × みやぎ = PROGRESS**

～誰一人取り残さないデジタル社会の実現～

## 3つの 重点目標

**D for Citizen**

最適化による  
県民サービスの向上

● R5関連事業  
60件 20.2億円

**D for Local**

地域の課題解決と  
活力の創出

● R5関連事業  
63件 16.0億円

**D for Business**

デジタル化による働き方改革の推進

● R5関連事業 16件 2.8億円

● R5関連事業  
31件 22.2億円

県行政の  
情報化の基盤整備





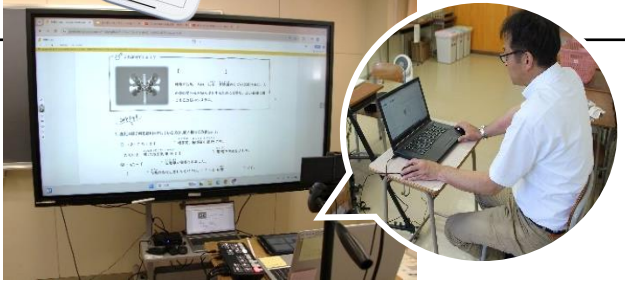
**Foundation**

市町村の  
情報化への支援

● R5関連事業  
7件 1.0億円

目標達成のための基盤取組

# 重点目標① 「最適化による県民サービスの向上」 取組状況

ポリシー行動指針 <関連KPI>	R5年度の主要取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政手続のオンライン化</li> <li>● キャッシュレス化等</li> </ul> <p>電子申請サービス導入市町村数</p> <p>R2 25自治体 → R5 35自治体</p> <p>達成率 100%</p> <p>目標 (R6) 33自治体</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>キャッシュレス決済導入方針決定 (R6.2月)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 令和6年度からのキャッシュレス決済の導入</li> <li>▶ 令和7年度末までの収入証紙廃止に向けた見直し</li> </ul> </li> <li>● 地方税納付での全国共通QRコード導入 (利用可能なスマホ決済アプリ拡大 7種→25種)</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無料公衆無線LANの環境整備</li> <li>● デジタルデバイド対策の推進等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>高齢者コミュニティ活動のデジタル化支援</b> (オンラインセミナー等@東松島市、蔵王町、村田町、南三陸町)</li> <li>● <b>みやぎFree Wi-Fi増設</b> (新設施設:松島自然の家)</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>マイナンバーカードの普及促進</b></li> </ul> <p>県内マイナンバーカード交付率</p> <p>R2 27.25% ※総務省発表</p> <p>R5 78.34%</p> <p>目標 (R6) 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MNCカードの申請サポート・出張申請 (事業実施185回、申請数3,704件)</li> <li>● デジタル身分証アプリによる <b>宮城県原子力防災アプリ稼働【新規】</b> (女川原子力発電所周辺7市町で運用開始)</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>豊かで安心・安全な暮らしを推進するための積極的な情報発信</b></li> </ul> <p>AIを活用した結婚支援センター(みやマリ!) 会員登録者数</p> <p>R2 201人</p> <p>R5 1,768人</p> <p>達成率 70%</p> <p>目標 (R6) 2,500人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中央児童相談所への音声マイニングシステム導入【新規】</li> <li>● AIマッチングによる結婚支援 (成婚97組)</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICTを活用した教育環境の整備</li> <li>● 教育の情報化推進</li> </ul> <p>ICT活用指導力の高い教員の割合</p> <p>R2 66.5% ※翌年度に数値確定</p> <p>R4 72.9%</p> <p>目標 (R6) 72.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県立高校での<b>遠隔授業配信</b> (貞山高校他)【新規】</li> <li>● 療養中児童への<b>遠隔授業用アバターロボットの配備【新規】</b></li> </ul> 



# 重点目標② 「地域の課題解決と活力の創出」 取組状況

ポリシー行動指針	<関連KPI>	R5年度の主要取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル技術導入による県内産業の生産性向上イノベーションの創出</li> <li>● 中小事業者や地域のデジタル化支援</li> </ul>	<p>デジタル化が「ある程度進んでいる」以上の企業の割合</p> <p>R4 32.7%    R5 40.0%    目標 (R6) 39.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県産品ポータルサイト「宮城旬鮮探訪」運用 (サイト閲覧数増加 R4:62万 →R5:162万)</li> <li>● 中小企業等デジタル化セミナー (参加人数146人)</li> <li>● 中小企業等デジタル化支援事業補助金の交付 (98件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル技術の導入による地域の課題解決</li> </ul> <p>AIカメラ等による混雑状況を可視化した観光用デジタルマップサイト閲覧数</p>	<p>R3 約2万2千件    R5 約5万2千件    目標 (R6) 約5万5千件    達成率95%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Miyagi Pitch Contest 2024の開催</li> <li>● 観光用デジタルマップによる混雑状況可視化</li> <li>● デジタル身分証アプリによるミニアプリ実証【新規】             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ異常箇所通報</li> <li>・観光スタンプラリー</li> <li>・地域ポイント</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● AI・IoT導入支援</li> </ul> <p>先進モデル創出延べ件数 (先進的デジタル技術実証事業実施数)</p>	<p>R5 延べ12件</p> <p>目標 (R6) 17件    達成率70%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先進的技術活用による新たなビジネスモデル企画・実証経費の補助 (3件)</li> <li>● 「AI・IoTデモシステム」の展示・体験 (宮城県産業技術総合センター「身の丈DXラボ」内)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農林水産分野への新技術導入</li> </ul> <p>県設置のRTK基地局の利用者数</p>	<p>R4 112者    R5 160者</p> <p>目標 (R6) 100者    達成率138%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● RTK利用拡大コンソーシアム設立 (R5.9月) 【新規】</li> <li>● AI等を活用した藻場・ウニ見える化システムの開発 (R6.2月) 【新規】</li> <li>● 林業事業者へのICT活用研修実施</li> </ul>

# 重点目標③ 「デジタル化による働き方改革の推進」取組状況

ポリシー行動指針	<関連KPI>	R5年度の主要取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Web会議の推進</li> <li>● テレワークの推進</li> </ul>	<p>モバイルワーク実施数</p> <p>R3 280人 R5 377人 目標 (R6) 300人 達成率125%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Web会議システムの整備・運用 (WEB会議利用実績: 10,740回)</li> <li>● 在宅勤務・モバイルワーク等の推進 (新型コロナ対応用テレワークPC単独庁舎へ再配分) (在宅勤務実績 1,520人日/年)</li> <li>● クラウドPBX導入実証事業【新規】 (実証所属66回線で実施)</li> </ul> <p>オフィス改革後 (人事課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペーパーレスの推進</li> <li>● 電子決裁の推進等</li> </ul>	<p>電子決裁率</p> <p>R3 59.6% R5 79.2% 目標 (R6) 前年度越え</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オフィス改革の推進 (人事課、環境生活部)</li> <li>● 新総合文書システムの運用</li> <li>● ペーパーレス会議・紙文書の電子化の推進 (実施394回/52万3千ページ削減) (紙文書電子化数: 約14.7万枚)</li> </ul> <p>前</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● AIやRPA等の活用による事務作業の省力化・効率化</li> </ul> <p>議事録作成の削減時間</p> <p>ノーコードツールアプリ開発による事務作業削減時間</p> <p>R3 6,624h R5 12,328h 目標 (R6) 5,700h 達成率216%</p> <p>R5 1,223h ※R5から運用開始 目標 (R6) 1,000h 達成率122%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 議事録作成支援システムの運用</li> <li>● 生成AI活用5原則策定と試行運用</li> <li>● 公用車・会議室予約管理システム、入退庁管理システムの運用開始</li> <li>● ノーコードツール (AppSuite) の活用【新規】</li> </ul>	<h3>宮城県庁生成AI活用5原則</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 親和性の高い業務に積極活用</li> <li>2 効果的な問いかけの実践</li> <li>3 個人・秘匿情報の入力禁止</li> <li>4 正確性の確認</li> <li>5 著作権への留意</li> </ol> <p>マイナンバーカードを使って開錠</p>

# 「目標達成の基盤となる取組」取組状況

取組	ポリシー行動指針	R5年度の主要取組
<b>市町村への支援</b> 情報化への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事例紹介・情報提供等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治体システムの標準化・共通化支援（11市町村）</li> <li>● DX推進セミナー（階層別に3回実施）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル・ガバメント推進支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンデータの推進（全35市町村公開済）</li> <li>● 電子申請システムの共同運用（県+25市町）</li> <li>● 窓口オンラインサービス支援（研修会・出張相談・標準様式の提供等）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報通信基盤の利活用支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治体クラウド専門部会開催（勉強会等17回開催）</li> <li>● 「みやぎハイパーウェブ」の運用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員のICTスキル向上支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アドバイザー派遣による相談支援（実施6回）</li> </ul>
<b>県行政の情報化の基盤整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報システムの最適化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基幹システムの再構築（R6.3月～すべての基幹業務システム稼働開始）</li> <li>● 「県情報システム調達ガイドライン」に基づく協議・検証等（事業構想38件・予算要求38件・予算執行76件・検証30件）</li> <li>● システム調達・運用研修（受講者県・市町村計246人）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サイバーセキュリティ・個人情報の適正な取扱い確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治体情報セキュリティクラウドの運用（東北6県+新潟）</li> <li>● 情報セキュリティセルフチェック（11,917人/実施率97.4%）</li> <li>● 標的型メール攻撃訓練（222所属で実施）</li> <li>● 情報セキュリティ研修（新採職員218人・セキュリティ管理者担当者等183名）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庁内の人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DX推進職員研修（259人） ● DX推進研修（階層別研修656人）</li> <li>● e-ラーニング研修（2,005人） ● 自治体DX推進リーダー研修（20人）</li> </ul>



# 令和5年度「みやぎ情報化推進ポリシー」進捗報告資料 個別施策及びKPI設定施策の進捗状況について

## D for Citizen 最適化による県民サービスの向上

R5年度 60事業実施 決算額2,022,951千円  
R6年度 63事業実施 予算額2,093,959千円

施策名	担当所属	項目 (単位)	基準値 (時点)	R6年度末 目標値	R5年度末 目標値	R5年度末 実績値	進捗状況に係る要因分析
オープンデータ みやぎ推進事業	企画部 デジタルみやぎ推進課	オープンデータみやぎ公開 数(データセット)	335 (R3.3)	500	400	345	【未達成】庁内向けの基礎・応用研修をそれぞれ実施したが、オープンデータの意義や有効性について定着が不十分であることが要因。
無料公衆無線LAN整備事業	企画部 デジタルみやぎ推進課	みやぎFree Wi-Fi導入箇所数 (箇所/累計)	915 (R2.12)	2,003	1,731	1,023	【未達成】みやぎFree Wi-Fi以外の公衆Wi-Fiやその他の無料Wi-Fiの普及もあり、みやぎFree Wi-Fiを新設するケースが減ってきているため。
マイナンバーカード普及啓発	企画部 デジタルみやぎ推進課	マイナンバーカード県内普及率(%)	22.1 (R2.12)	100	100	78.4	【未達成】出張申請の実施などに取り組んだものの、国のマイナポイント事業が終了したことや、交付率が一定程度に達し、交付率が伸び悩んだため。
教育情報化推進の加速	教育庁 教育企画室	授業にICTを活用して指導する能力(%)	66.5 (R元年度)	72.5	69.5 (R4目標) 71.0 (R5目標)	72.9 (R4年度数値)	【達成】文科省調査を基礎としておりR5年度実績は翌年度10月頃確定予定。R4、R5年度目標値ともに達成。

## D for Local 地域の課題解決と活力の創出

R5年度 63事業実施 決算額1,600,857千円  
R6年度 68事業実施 予算額1,400,762千円

施策名	担当所属	項目 (単位)	基準値 (時点)	R6年度末 目標値	R5年度末 目標値	R5年度末 実績値	進捗状況に係る要因分析
地域課題を解決する5Gを活用した実証モデル事業	企画部 デジタルみやぎ推進課	5G実証事業件数 (先進技術の活用に取り組む事業者数)(件)	2 (R3年度)	-	-	-	【達成】R4年度で事業終了。R4年度実績:2事業者(目標達成)。
情報通信関連企業立地促進事業の推進	企画部 産業デジタル推進課	情報通信関連企業の県内立地件数(件)(延べ)	24 (R元年度)	57	50	51	【達成】IT需要の拡大や、国内で情報通信関連企業が集積する首都圏でのデジタル人材不足等を背景とし、昨年度に引き続き、情報通信関連企業の地方拠点開設の流れが継続している。
AI・IoT産業創出・活用促進支援事業(先進的デジタル産業振興支援事業)	企画部 産業デジタル推進課	①先進モデル創出件数(件)(延べ) ②セミナー参加者満足度(%)	①8件 (R3年度)	①17件 ②80%	①14件 ②80%	①12件 ②100%	【一部達成】①他の事業で関わった方々を中心に事業の周知が広がり、前年度より申請が増加した。③DXに向けた実践的な内容のセミナーとしたことが県内事業者のニーズと合致し、評価が高かった。
デジタルマーケティングを核とした県産品販売促進モデル構築事業	農政部 食産業振興課	宮城旬鮮探訪へのアクセス数(件)	150,680 (R3年度)	-	200,000	1,622,948	【達成】デジタル広告を適切に配信し、サイトへの誘客に結びつけることができた
アグリテック活用推進事業	農政部 農業振興課	80ha以上の大規模土地利用型農業法人のアグリテック導入法人数(件)	18 (R元年度)	65	55	59	【達成】県RTK基地局の本格運用に合わせて、補助事業等を活用して新たに自動操舵技術などを導入する経営体が増加した。
みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業	農政部 農山漁村政策課	デジタルトランスフォーメーション地域戦略計画の策定地区数(市町村数)	R3新規	-	6	5	【未達成】モデルとなる市町村の公募を行ったが、応募市町村数が目標値に達しなかった。

# 個別施策及びKPI設定施策の進捗状況について

## D for Business デジタル化による働き方改革の推進

R5年度 16事業実施 決算額288,236千円  
 R6年度 17事業実施 予算額335,038千円

施策名	担当所属	項目 (単位)	基準値 (時点)	R6年度末 目標値	R5年度末 目標値	R5年度末 実績値	進捗状況に係る要因分析
テレワークの導入	総務部 行政経営企画課	①モバイルワーク実施回数 (回/年) ②在宅勤務用PC稼働率(%)	①280回/年 ②専用PC 稼働率 約18% (R3年度)	①300人/ 年 ②30%	①250人/年 ②15%	①377人/年 ②約16%	【達成】 コロナが5類になったことを受け、出張利用が増となったことからモバイルワーク実施人数が増加。在宅勤務用PC稼働率は、在宅勤務制度を恒常的な制度に見直したため目標値を上回った。
ペーパーレス会議システムの導入 新総合文書システムの構築・運用	総務部 行政経営企画課 総務部 県政情報・文書課	①ペーパーレス会議実施回数(件) ②紙削減率:R3比(%)	①会議等 175回実施 (約42万 ページ削減) ②前年度比 98.1% (R3年度)	①960回 ②99.5%	①800回 ②99.6%	①会議等 394回実施 (約523千 ページ削減) ②126% (R4年度比)	【一部達成】 令和4年度から本格導入し、会議実施回数が昨年度を上回ったものの、所属により実施状況に差があり、全庁的に十分浸透していない状況であることから、目標値を下回った。
Web会議システムの活用	企画部 デジタルみやぎ推進課	Web会議実施件数(件/月)	400 (R2.10)	1,000	1000	629	【未達成】 今年度新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、対面での会議も増えたことなどから、主催件数としては減少。しかし、貸出Web会議システム等についても稼働率は高く、需要は引き続き大きいものと思われる。
テレビ会議システムの運用	警察本部 情報管理課	テレビ会議対応端末数(%)	2 (R2.12)	100	60	71.4	【達成】 令和5年度に調達案件がないため、KPI実績値に変更なし。令和4年末時点で、予定調達台数より多く調達することができた。



# 個別施策及びKPI設定施策の進捗状況について

## 市町村の情報化への支援

R5年度 7事業実施 決算額101,190千円  
R6年度 8事業実施 予算額113,729千円

施策名	担当所属	項目 (単位)	基準値 (時点)	R6年度末 目標値	R5年度末 目標値	R5年度末 実績値	進捗状況に係る要因分析
宮城県・市町村共同電子申請サービス提供業務	企画部 デジタルみやぎ推進課	電子申請サービス導入済み市町村数 (市町村)	25 (R2.12)	33	33	35	【達成】市町村へ説明等を行ったが、サービス更新の時期等がネックになり、導入には至らなかったものの、単独での電子申請サービスの導入やぴったりサービスの活用により、すべての市町村において、電子申請サービスを導入した。
県内市町村オープンデータ推進事業	企画部 デジタルみやぎ推進課	オープンデータ公開済み市町村数 (市町村)	10 (R2.12)	35	35	35	【達成】前年度からの宮城県電子自治体推進協議会オープンデータ専門部会での取組により、各市町村におけるオープンデータに対する理解や知識が深まったことで公開が促進されたもの。
市町村職員への研修・行政情報化に関するアドバイス機会等の提供	企画部 デジタルみやぎ推進課	市町村からの相談対応や講師派遣の件数 (回)	4 (R2.4)	5	5	6	【達成】市町村におけるDX推進が図られてきていることから、市町村主催の情報セキュリティ研修会の開催が増加したことが要因と考えられる。
市町村業務システムへの自治体クラウド導入支援事業	企画部 デジタルみやぎ推進課	自治体クラウド導入支援実施回数 (回/年度)	3 (R2年度)	5	5	17	【達成】令和3年5月のデジタル関連法可決とともに国の自治体クラウド推進目標が失われ、新たな事業の検討が行われたことから、ガバメントクラウド移行を前提として、市町村へのフォローが必要になったため。

## 県行政の情報化の基盤整備

R5年度 31事業実施 決算額 2,228,604千円  
R6年度 29事業実施 予算額 2,013,974千円

### イ 情報システムの最適化

施策名	担当所属	項目 (単位)	基準値 (時点)	R6年度末 目標値	R5年度末 目標値	R5年度末 実績値	進捗状況に係る要因分析
デジタルみやぎ推進アドバイザーの設置	企画部 デジタルみやぎ推進課	デジタルみやぎ推進アドバイザー相談等件数 (件)	147 (R元年度)	200	200	158	【未達成】令和3年度は全庁的にデジタルに係る施策等の実施が増えたこと、システム改修や更新が重なったこともあり、アドバイザー活用の需要がピークであったが、その後徐々に落ち着いたことが要因と思われる。
情報システム調達の統括管理	企画部 デジタルみやぎ推進課	情報システム調達ガイドラインに基づき、予算要求がなされた割合 (%)	100	100	100	100	【達成】デジタルみやぎ推進アドバイザーと連携して、原課の事業計画策定を支援できたため。
情報システム調達・運用研修の実施	企画部 デジタルみやぎ推進課	情報システム調達・運用研修受講者数(人)	42 (R元年度)	40	40	75	【達成】動画による研修メニューの増加により、受講者数が増加したため。

# 個別施策及びKPI設定施策の進捗状況について

## 県行政の情報化の基盤整備

### ロ サイバーセキュリティ及び個人情報の適正な取扱いの確保

施策名	担当所属	項目 (単位)	基準値 (時点)	R6年度末 目標値	R5年度末 目標値	R5年度末 実績値	進捗状況に係る要因分析
情報セキュリティ関係	企画部 デジタルみやぎ推 進課	(過去3年間) 情報セキュリティインシ デント発生所 属における再発件数 (件)	0 (R2年度)	0	0	0	【達成】 過去3年間でセキュリティ事故を原因とした内部監査を実施した所属の中で、R5にセキュリティ事故があった所属はなし。情報セキュリティ研修や広報啓発、情報セキュリティセルフチェック等により件数が抑えられた。
情報セキュリティ研修の実施	企画部 デジタルみやぎ推 進課	情報セキュリティ研修 受講者数 (人)	298 (R元年度)	400	400	401	【達成】 令和4年度から新任管理者・新任担当者対象研修をオンラインで実施したことで、対象者だけでなく幅広い受講者の増加につながった。
情報セキュリティセルフ チェックの実施	企画部 デジタルみやぎ推 進課	職員の情報セキュリティ セルフチェック実施率 (%)	96.97 (令和3年度)	95	95	96.70%	【達成】 全庁周知＋未実施所属への積極的な催促による。R4年度からクイズ形式のチェックに変更。

### ハ 庁内の人材育成

施策名	担当所属	項目 (単位)	基準値 (時点)	R6年度末 目標値	R5年度末 目標値	R5年度末 実績値	進捗状況に係る要因分析
DX推進研修	企画部 デジタルみやぎ推 進課	受講者数 (人)	70 (R3年度)	680	680	656	【未達成】主事・技師、主査、課長級研修の計画値と比較し、当日出席者が少なかったため。
ICTを活用した授業改善・ 活用能力向上	教育庁 教育企画室	授業にICTを活用して 指導する能力 (%)	66.5 (R元年度)	72.5	69.5 (R4目標) 71.0 (R5目標)	72.9 (R4年度数値)	【達成】 文科省調査を基礎としておりR5年度実績は翌年度10月頃確定予定。R4、R5年度目標値ともに達成。
ICT人材育成の推進	警察本部 総務部 情報管理課	ICT研修の受講者数 (人)	16 (R2.12)	20	20	30	【達成】 研修受講スケジュールのとおり受講させることができたため。